

肝炎に関する研究助成事業の趣旨について

財団法人 ウイルス肝炎研究財団

理事長 北 島 義 俊

我が国には、肝疾患の患者は約340万人存在すると言われており、これらの肝疾患が成人期に多発し、経過が長期にわたるため、患者の家族、家庭生活に及ぼす影響が大きく、また職場においても長期欠勤、休職の大きな要因の一つになっているため、国民の関心はますます高まっています。

このような肝疾患の予防、治療方法を開発するには、医学は勿論、関連諸科学の協力によって取組むことが基本的に必要であり、国においても大型研究班を組織して、積極的な研究事業を行っておりますが、そのみに止まる事なく、よりきめこまかい研究体制作りや、研究開発の方途を講ずるため、民間資金による積極的な協力活動が望まれ、かような情勢のなかで、肝疾患に関する研究の推進とその基盤となる研究振興を図ることを目的として、昭和56年4月財団法人ウイルス肝炎研究財団が設立されました。

本財団は、そのような経緯から事業計画の一つとして、下記のとおり「肝炎に関する研究助成事業」として「研究奨励金」の贈呈をおこなっております。この事業の趣旨に基づき、当財団のささやかな意図が、国民の健康と福祉の向上にいささかなりとも寄与することが出来ますれば、望外の幸せと存ずる次第でございます。

つきましては、各位のご理解とご賛同をいただき、一層のご支援ご協力の程をお願い申し上げます。

記

研究奨励金 肝疾患に関する基礎・臨床分野で、その研究成果が肝疾患の成因と治療、予防に有用な影響を与えるものと期待される、優れた個人または団体の研究者に「研究奨励金」を贈呈する。

平成21年度 肝炎に関する研究助成事業「研究奨励金」実施要領

助成対象 肝疾患に関する基礎・臨床分野でその研究成果が、肝疾患の成因と治療、予防に有用な影響を与えるものと期待される、優れた個人(45歳未満)、団体及び共同研究グループの研究者。

なお、団体及び共同研究グループは、原則として、地方公共団体等との行政と密接に関連する研究を行うものであること。

※過去において、受賞された方は除く。

※同じテーマで他の助成金に該当しないこと。

推薦者 総合大学医学部長、医科大学学長、附属病院長、医学研究所長。

推薦手続 別添の申請書を財団に提出すること。

申請書送付先 〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-15 新興ビル7階
(財)ウイルス肝炎研究財団 事務局

推薦件数 1機関、1件とする。

奨励金 原則として、1件当たり100万円を贈呈する。

日 程 応募締切 平成21年11月20日 (厳守、当日消印あるもの有効)

発 表 平成22年2月予定

贈 呈 式 平成22年3月予定

選 考 財団法人ウイルス肝炎研究財団選考委員会で審議のうえ、理事会において受賞者を決定する。

選考結果については、推薦者と被推薦者に通知する。

選考委員

委員長	鈴木	宏
委員	堺	隆弘
委員	正林	督章
委員	工藤	正俊
委員	溝上	雅史
委員	河田	純男
委員	中沼	安二

平成 年 月 日

財団法人 ウイルス肝炎研究財団
理事長 北 島 義 俊 殿

(推薦者)
所 属：

職 名：

氏 名： ㊟

財団法人 ウイルス肝炎研究財団研究助成事業（研究奨励金）申請書

研 究 者	(ふりがな) 氏 名： 生年月日： 年 月 日(歳) 自宅住所：〒 TEL： ()	所属機関： 職 名： 所 在 地：〒 TEL： () FAX： ()
	略 歴：	主な業績：
研究課題：		研究期間：平成 年 月 日～ 平成 年 月 日
研究内容：		
推薦理由：		

【備 考】・主な業績欄は、著書、発表論文、学会発表等の主要なものを記載してください。
・研究内容欄は、研究目的、研究方法、考察、結論等の要点を記載してください。
・推薦理由欄は、その理由を簡潔に記載してください。

平成 年 月 日

財団法人 ウイルス肝炎研究財団
理事長 北島義俊 殿

(推薦者)
所属：
職名：
氏名：

㊟

財団法人 ウイルス肝炎研究財団研究助成事業（研究奨励金）申請書

団体・共同研究グループ	団体・共同研究グループ，代表者名：			
	所在地（連絡先）〒			
	TEL：		FAX：	
共同研究者	設立・沿革：		主な業績：	
	所属機関	職名	氏名	分担研究事項
研究課題：		研究期間：平成 年 月 日～ 平成 年 月 日		
研究内容：				
推薦理由：				

【備考】・主な業績欄は、著書、論文発表、学会発表等の主要なものを記載してください。
・研究内容欄は、研究目的、研究方法、考察、結論等の要点を記載してください。
・推薦理由欄は、その理由を簡潔に記載してください。